



久留米つばき正義（まさよし）

農業・農村の持つ多面的機能を発揮するための環境整備に向けて

# 耳納山麓の豊かな農村環境を整備し みどりの里づくりを推進

草野町・久留米つばき園ほか

豊かな農村環境を活かす

久留米市東部に位置する耳納北麓  
地域は、自然や歴史的、文化的観光資  
源の多い農村地域です。

市では、これらの資源を活かして、  
それらをうまく連携させ、魅力を高  
めることにより、多くの来訪者を呼  
び込み、都市と農村の交流を促進す  
ることで経済効果を高め、地域の活  
性を推進する「みどりの里づくり」  
を推進しています。

また、この地域は、全国最大規模の  
植木・苗木の産地で、本市の代表的な  
花木のツツジ、ツバキのほか、様々な  
果樹苗木が生産されています。



美しい農村景観の耳納連山と筑後川



## 耳納の豊かな 農村環境を体感できる 久留米つばき園

平成20年3月、草野町にオープンした「久留米つばき園」は、約3ヘクタールの敷地にツバキ・ツツジを中心とした花とみどりの憩いの空間です。

園のある地域は、もともとツバキの苗を育てる畑として、明治時代に開墾された地域で、これまで地元生産者が永年にわたって育成してきた多くのツバキの古木、名木があり、これらの多くをそのまま活かしながら整備し、つばき園としています。

また、園の整備にあたっては、主に地元で育てた植木・苗木を移植し、全国でも有数の多品種約500品種2000本のツバキ類を植栽しています。さらに、白玉宝珠(しらたまほうしゅ)



や太郎冠者(たろうかじや)、小夜佐助(さよわびすけ)などの樹齢100年に及ぶツバキの古木をはじめ、正義(まさよし)などの貴重な園芸品種や原種ツバキを数多く揃えており、ツバキの魅力をもっと味わうことができます。

## 魅力的な農村環境を 有する耳納山麓地域

耳納山麓地域には、農村地域の魅力がたくさん詰まった数多くのスポットがあります。

久留米市の農産物が一堂に会した農産物直売施設を有する「道の駅くるめ」(善導寺町)、ケルメツツジを始め世界各地のツツジの保存・育成、新品種ツツジの開発を行う「久留米市世界つづじセンター」(山本町)のほか、美しい農村環境を活かした飲食店や観

光施設などがあります。平成22年には、ツバキに関する国際会議の開催が予定されており、ツバキとともに本市の豊かな農村環境を国内外にアピールする好機となることが期待されています。

(写真上) 久留米つばき園(草野町)のエントランス、東屋、芝生広場。

(写真中) 久留米つばきの白玉宝珠(しらたまほうしゅ)。真っ白で幾重にも重なった花びらが特徴の中輪の春咲きのつばきです。

(写真下) 平成20年4月に英国で開催された「国際ツバキ会議コンウォール大会」で次回開催地の久留米市を大いにアピールする江藤守國久留米市長。

## 全国から、世界からツバキの里に大集合 国際ツバキ会議・全国椿サミット開催

ツバキは日本を代表とする国際的な花のひとつです。久留米市では、ツバキにより本市の魅力をもっと国内外に情報発信するとともに、緑化産業の振興や地域の活性化を図る大きな契機とするために、平成22年3月に石橋文化センター、久留米つばき園などを主会場に「2010国際ツバキ会議久留米大会」、「第20回全国椿サミット久留米大会」を開催します。



2010国際ツバキ会議久留米大会の開催PRリーフレット。リーフレットは日本語版のほか英語版を作成し、海外への周知も行っていきます。(写真は日本語版リーフレット)

### 2010国際ツバキ会議 久留米大会

会期:平成22年3月20日(土)~24日(水)(5日間)  
内容:研究発表、視察見学、ツバキフェア など

### 第20回全国椿サミット 久留米大会

会期:平成22年3月20日(土)~21日(日)(2日間)  
内容:講演会、視察見学、ツバキフォーラム など